

平成29年度報告書

- ・事業報告及び附属明細書
- ・貸借対照表
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- ・予算対比損益計算書(正味財産増減計算書)
(参考資料)
- ・財産目録(参考資料)
- ・監査報告

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

平成29年度 事業報告

《 概 況 》

平成29年度、予防医学振興事業、福祉事業、音楽文化振興事業の三つの事業分野で、引き続き多岐にわたる事業を実施しました。

予防医学振興事業においては、住友生命総合健診システム(人間ドック)において、平成29年度は総合健診受診者数21,832名と多くの方々にご受診いただきました。また、聴力障害者無料健康診断や介護家族の会会員向けの優遇健診についても、引き続き実施しました。

住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全で快適に提供するとともに、受診者の健康管理を支援する各種の取組を行いました。また、その運営を通じて得られた知見については、学会等で積極的に発表を行いました。

福祉事業においては、27年目を迎えた「スミセイさわやか介護セミナー」を「スミセイ ウエルネス セミナー」に改称し、介護に限定せずスポーツイベント等を含めた幅広い健康をテーマとして実施したのをはじめ、「ケアする人のケアセミナー」、「遠距離介護セミナー」を開催しました。また、各地の児童館とNPOの連携により、地域に応じた子ども向けプログラムの実践を通じて地域全体で子どもを支える環境づくりを目指す「子どものための児童館とNPOの協働事業」、次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援し、自然環境学習につなげる「子どもエコ俳句大賞」を実施しました。

音楽文化振興事業においては、メインの企画は「ウィーン・ムジークフェスト2017」と題し、ウィーンを代表する巨匠ピアニストのルドルフ・ブッフビンダー氏を招聘し3公演(ソロ、室内楽、協奏曲)と講演会を実施開催しました。バッハ・アルヒーフ・ライブツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も6年目を迎えました。

若年層のクラシック音楽ファンの育成・獲得に向けた取組としてユースシートを継続、またOsaka Shion Wind Orchestraと提携した音楽鑑賞会(8公演)では大阪市の小学生約2,600人がいずみホールを訪れました。障害のある方々とサポートする方々をコンサートに招待する「いずみホール夢コンサート」は15回目を迎えました。

各分野、個別事業の取組内容については次のとおりです。

I 予防医学振興事業

1. 住友生命総合健診システム(人間ドック)

予防医学の観点から、生活習慣病の早期発見および健康管理に資する住友生命総合健診システムは、設備の充実、きめ細かい受診者対応と相まって、引き続き多くの方々に受診いただきました。

平成29年度、総受診者数は、23,183名でそのうち、総合健診受診者数は21,832名、1日あたり平均85名となりました。初回受診者は3,135名となり、初めての方にも数多く当施設をご利用いただきました。健診受診料金収入は、1,050百万円となり、ほぼ前年並みを確保しました。

また、実施9年目を迎えた特定健診・特定保健指導の年間受診者数は、8,355名となりました。

【住友生命総合健診システムの受診状況】

	総合健診			特定健診・特定保健指導			
	受診者(うち初回受診者)	(初回割合)		受診者	当日面談	後日面談	情報提供
男性	11, 913	(1, 557)	(13. 1%)	4, 972	1, 839	321	2, 812
女性	9, 919	(1, 578)	(15. 9%)	3, 383	1, 334	385	1, 664
合計	21, 832	(3, 135)	(14. 3%)	8, 355	3, 173	706	4, 476

住友生命総合健診システムでは、高度な健診内容を安全に快適に提供するため、計画的に設備・施設の更新を行い、健診内容の品質向上に継続して取り組みました。人気の高い胃カメラ検査枠および乳癌検査枠の拡大等、受診者サービスの向上につとめました。

また、20年目を迎えた聴力障害者無料健康診断を平成30年2月3日に実施、平成21年度から実施している大阪府下の介護家族の会会員への総合健診受診優遇を継続し、健康管理が疎かになりがちな層への健診サービスの提供に努めました。

主な取組事項は次のとおりです。

胃カメラ検査枠の拡大	平成29年4月から胃カメラの検査枠を1日24名から27名に拡大しました。また、10月からは、週に1回(木曜日)、午後検査枠として9枠拡大しました。
乳癌検査枠の拡大	平成29年7月から乳癌検査枠を1日33名から38名に拡大しました。
聴力障害者無料健康診断の実施	平成30年2月3日に聴力障害の方を対象にした無料健康診断を実施しました。公益社団法人大阪聴力障害者協会・公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会等を通じ告知を行い、多数の申込のうち70名の方々に受診いただきました。受診時のみならず、事前説明会、結果説明会も手話通訳つきで実施しました。この取組は20回を数え、これまでの延べ受診者数は1,462名にのぼっています。

「介護家族の会」会員への総合健診受診の優遇	親や配偶者の介護に携わる人は、自身の健康管理が疎かになりがちであるため、大阪府下の「介護家族の会」の会員で現に介護に携わっておられる方を対象に受診優遇を継続実施し、33名の方に受診いただきました(受診料10,000円)。
-----------------------	--

住友生命総合健診システムの運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、平成29年度については以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にも積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第58回日本人間ドック学会総会	8月24日	大宮ソニックシティ
NT－proBNPの経年変化に関する検討 【発表者】岡田優子 【共同演者】堀本葉子、寺田博美、亀岡美幸、神田恵美子、安井香里、谷口恵、石原真菜、長尾顕一、久保満明		
第58回日本人間ドック学会学術大会	8月25日～27日	大宮ソニックシティ
上部消化管内視鏡検査レポートシステムの開発・使用経験について 【発表者】堀本葉子 【共同演者】野田直子、寺田博美、長尾顕一、久保満明		
第27回日本乳癌検診学会学術総会	11月9日～10日	あわぎんホール・JRホテルクレメント徳島
初回MG／US併用受診者の乳腺濃度別成績について 【発表者】田中和美 【共同演者】馬本深幸、川崎幸代、亀岡美幸、坂根恵梨子、岩尾綾子、寺田博美、岡田優子、長尾顕一、堀本葉子		
JAIFAオールスミセイ会 VNS研修	12月18日	住友生命 東京本社
人間ドックからのお話し「乳がんについて知っておきたいこと」 【講師】堀本葉子		
第46回日本総合健診医学会総会	1月26日	愛知県労働産業センター
経年受診者から発見された膵癌症例における背景因子についての検討 【発表者】長尾顕一 【共同演者】岡田優子、亀岡美幸、神田恵美子、安井香里、谷口恵、石原真菜、坂下智子、馬本深幸、村上洋子、寺田博美、久保満明、堀本葉子		

2. 地域医療貢献奨励賞

自治医科大学の後援を得て、へき地等で長期にわたり地域医療に多大な貢献をされている医師を顕彰する「地域医療貢献奨励賞」は11年目を迎えました。全国の都道府県から推薦のあった医師の中から次の6名を選出し、平成30年2月24日に表彰式を行いました(副賞50万円)。

小林 達	山形県西村山郡 朝日町立病院・院長
昭和55年東北大学医学部卒。平成3年より、朝日町立病院に副院長として着任、その後平成6年には同病院の院長に就任し、現在まで26年間にわたり、地域における医療の確保と保健活動の充実、発展に尽力してきた。朝日町は山形県内でも2番目に高齢化率が高く、患者は高齢者が多いことから、単に病気を治すというだけでなく、予防から治療、在宅医療に至るまで、一貫した医療サービスを提供し、地域包括ケアの拠点として積極的に取り組んできた。特に在宅医療については以前から力を入れており、平成12年度に院内に在宅医療相談室を設置し、ケアプラン作成や訪問看護、訪問診療を行っており、平成18年には通所リハビリテーションを開設している。平成21年には地域包括医療・ケア施設として認定を受け、地域医療の充実に努めてきた。また、平成20年度から始まった特定健診についても、国保直診病院としていち早く取り組み、生活習慣病予防対策を推進している。さらに、臨床研修制度の開始に伴い、平成16年に「臨床研修協力施設」の認定を受け、毎年10人程度の研修医を受け入れ、地域医療について理解を深めてもらうなどの研修指導にも積極的に取り組んでいる。これらの取り組みは、町民の健康保持、増進に貢献しており、地域医療の確保に昼夜を問わず献身的に努めている功績は大きい。	
佐久間 暢夫	山口県萩市 萩市国民健康保険川上診療所・所長
昭和61年自治医科大学卒。昭和63年より、美和町立美和病院(現・岩国市)でへき地勤務を開始し、川上村国保診療所への着任後は、高齢化の進む住民の健康状態だけではなく、生活環境等を熟知し、幅広い知識・技術を生かし住民の健康管理に取り組み、住民や患者からの信頼も厚い。住民健診をはじめ、保育園嘱託医、小中学校医、老人ホーム医などとしても地域に関わり、住民の健康と暮らしを守り、地域医療に幅広く貢献している。また、日常診療に励む傍ら、川上村国民健康保険運営協議会委員(12年間)・萩市医師会理事を務め、さらに山口県立萩看護学校(平成7年度～)や山口県高等歯科衛生士学院(平成18年度～)及び萩准看護学院(平成21年度～)では、非常勤講師を務めるなど多岐にわたり医療の適正化・充実・育成に尽力している。医師臨床研修も積極的に受け入れ、地域医療・へき地医療への医師確保や研修医への指導育成に貢献し、平成25年から萩市休日急患診療センター所長を務め救急医療の機能強化に努めた。永きにわたり、県内過疎地域の医療機関において情熱をもって勤務し、地域医療の確保・充実及び住民の健康福祉の増進に多大に貢献し続けている。	

鎌村 好孝	徳島県徳島市 徳島県保健福祉部・次長(併)徳島県立中央病院地域医療科・部長
昭和61年自治医科大学卒。徳島県職員として採用されてから、徳島県内のへき地中核病院である「県立海部病院」、離島の「出羽島診療所」での勤務を皮切りに、その後は県内のへき地診療所である「木頭村診療所」や「木屋平診療所」に所長として勤務した。義務年限終了後に勤務した上勝町診療所では、公設民営のデイサービスセンターと民間施設の特別養護老人ホームが一体となった「上勝町包括ケアセンター」の立ち上げに中心的な役割を果たした。平成13年4月からは、徳島県中央病院内に設置された「へき地医療支援機構」の「初代専任担当者」に任命され、山間地の多い県下全域を対象とする「へき地医療支援体制」の整備に取り組んだ。平成20年度からは徳島県保健福祉部医療政策課医療環境整備室長として、平成22年度からは地域医療再生室長として、地域における医師不足に対処するため、県立へき地診療所の運営や将来の医師確保を図るための施策に取り組んだ。以降も県立中央病院や県庁で災害医療対策や医療介護の提供体制の構築、社会保障制度改革全般を統括する等、主要な役職における任務を果たした。へき地診療所での常勤職を離れた後も、県内各地の山間地等、医療に恵まれないへき地診療所における週4日程度の診察を行い、管理職となってからも週1～2日の診察を継続している。	
主藤 久次	長崎県対馬市 医療法人すとう内科医院・院長
昭和51年北里大学医学部卒。国立長崎中央病院研修医を経て昭和53年6月より長崎県離島医療圏組合上対馬病院に勤務。昭和54年に国立長崎中央病院にて1年間研修した後、長崎県離島医療圏組合上対馬病院と対馬いづはら病院に勤務。平成3年に対馬市において診療所を開業し、国境離島である対馬島の長崎県離島医療圏組合の病院において、通算で10年以上勤務した。その後、同じ対馬島内で診療所を開業し、以来26年にわたり現在も「医は心」を基本理念に患者に寄り添った医療サービスの提供を実践している。長年にわたる本県の離島医療に対する貢献はもとより、人格高潔にして温情溢れる人柄により多くの地域住民の人望を集めるとともに、識見豊かで統率力、実行力に優れ、確かな指導力により地域保健医療関係者からの信頼も厚く、人格、業績ともに地域医療への貢献は大きい。	
赤池 義昭	宮崎県串間市 本城診療所・(元)所長
昭和40年九州大学医学部卒。鹿児島県出身で、福岡で勤務していたところ、当時無医地区であった宮崎県串間市本城地区の医療を担いたいと、昭和50年5月に同地区に「本城診療所」を開院し、以来、平成29年5月に閉院するまで、42年の長きにわたり、地域医療を支え続け、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎市町村である串間市で、医療の確保及び向上に寄与してきた。また、昭和50年4月から平成25年3月までの38年間、本城小・中学校の学校医として学校の保健管理の指導等を務めるとともに、串間市内の保育所の嘱託医としても多年にわたり保健・予防を行い、健康福祉の増進に寄与した。また、串間市国民健康保険運営協議会の委員として、通算12年以上(記録が残る平成3年以降)務め、国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議し、保険者である串間市に対し答申している。加えて、休日在宅当番医や、日南市初期夜間急病センターでの診療への協力など、地域の救急医療への貢献も著しい。南那珂医師会では理事・議長・副議長を務めるなど、南那珂地域の医療の推進に積極的に貢献してきた。	

高石 利博	沖縄県国頭郡 医療法人博寿会もとぶ記念病院・理事長(兼)院長
昭和45年新潟大学医学部卒。主に東京で精神科医として研鑽を積み、昭和50年、人口当たりの精神疾患患者の多い沖縄県に少しでも貢献できればとの思いで、那覇市の田崎病院に勤務した。そこで、宜野湾市の玉木病院に所属していた、日本の地域精神科医療の先達である島成郎先生の感化を受け、島先生が久米島で実践していた地域精神科医療を学んだ。昭和55年、精神科病院のない沖縄県北部地域に開放病床を中心とする本部記念病院を開設し、地域の精神病疾患の患者・家族に大きく貢献している。また、病院での診療行為ばかりでなく毎月、伊江島(離島)への巡回診療も積極的に行い、地域精神科医療へ大きく貢献している。平成5年には老人性認知症疾患治療病棟及び同デイケアを開設し、地域の高齢化問題への対応や平成14年には応急入院病院の指定を受ける等、時代の求める地域医療の発展に努力してきた。平成12年からは、北部福祉保健所の嘱託医として、県保健福祉保健行政へも多大な貢献をしてきた。同時に北部地区医師会監事、沖縄県精神科病院協会顧問、全日本病院協会沖縄県支部理事等の活動へも積極的に協力し、沖縄県警察医、沖縄県犯罪被害者カウンセリングアドバイザー、地域の学校医等を引き受け、地域への貢献は計り知れないものがある。	

Ⅱ 福祉事業〔実施事業〕

1. 「スミセイ ウエルネス セミナー」(「スミセイさわやか介護セミナー」から名称変更)

国の介護保険制度が始まる9年前、平成3年にスタートした「スミセイさわやか介護セミナー」は、全国各地の地元新聞社との共催、住友生命保険相互会社(開催地支社)の協賛により毎年開催し、好評のうちに回を重ねて27年を迎えました。

本セミナーは、これまで行政の変化等、介護を取り巻く状況の変化に則し、適宜セミナー内容の見直しを行い、家庭に要介護者を抱えた家族、介護の仕事に就く人、さらには一般の方々に、広く介護関係の知識・技術を伝える役割を担ってきました。

平成29年度は、介護だけでなく病気予防・健康寿命の延伸といった幅広いテーマを取り上げていることをイメージできるようセミナー名称を「スミセイ ウエルネス セミナー」に変更し、全国37都市で開催、講演・シンポジウム・実習などに体操・ヨガ等のスポーツイベントを加えた多彩な内容を盛り込んだプログラムを提供して延べ約9,300名の方に参加いただきました。

2. 「ケアする人のケア」セミナー

一般財団法人たんぽぽの家との共催により、介護する側からの視点で問題提起を行うセミナーを毎年開催しています。

平成29年度は、「地域共生社会をめざして」をテーマに、平成30年2月10日に熊本市(熊本県)で開催しました。震災から2年が経ち復興が進むなか、熊本の地では、人と人が支え合うことが希望の光となる活動が続けられています。セミナーでは、介護・介助などに関わる活動や、人の痛みに向き合う表現活動の実践から、愛着のある地域でさまざまな人がともに幸せに暮らすことのできる、支え合いの文化づくりに向けて学び合うことを目的としました。研究者の講演とNPO法人の実体験者からの発表をもとに分科会もあり、210名の参加がありました。

また、「ケアとソリューションフォーラム」は、平成30年1月13日に東京都渋谷区にて、「ケアとテクノロジー～人間らしい思いやりの技術～」をテーマに行われました。ケアの課題に対して今後、介護ロボットによる身体的・精神的な支援が発展していくなかで、その根底にある「人としてのケア」が問い直されています。セミナーでは医療・介護・福祉の垣根を超えて幅広い分野の人たちが関わり合い、AI(Artificial intelligence 人工知能)やロボットなどのテクノロジーと、これからのケアについて考え語り合うフォーラムを開催し、225名の参加がありました。

平成25年度に開設した介護者を支える実践者の優れた取組等を共有化するネットワーク「HELP ON HELP」は、介護に関するシンポジウムなど、団体情報やイベントの告知の掲載依頼が増えており、幅広いケアについての情報サイトとして定着しつつあります。

3. 遠距離介護セミナー

NPO法人パオッコとの共催により、東京(平成29年11月12日)、大阪(平成29年11月19日)で『こんなはずじゃなかった』と、ならない施設選び」をテーマに、遠距離介護セミナーを開催しました。第1部は「施設選びのビギナーが知っておくべきこと」と題し介護支援専門員による講演、第2部は「体験者と専門家が語る『お悩み軽減！遠距離介護アドバイストーク』」と題し、介護支援専門員、成年後見センター、

NPO法人といった介護の専門家や介護体験者の経験・意見も聞きながら、会場全体で考え、問題解決に向けたヒントを探りました。東京と大阪で合計約180名の方が参加され、多くの質問もあり、充実したセミナーとなりました。

4. 子どものための児童館とNPOの協働事業

NPO法人日本NPOセンターが主催する「子どものための児童館とNPOの協働事業」(一般財団法人児童健全育成推進財団協力)に協賛し、児童館を舞台に子どもと他分野NPOの出会い創出を支援する活動は11年目となりました。14都道府県から応募があり、11都道府県・22プログラムに支援しました。今年度は新たに実施した都道府県はありませんでしたが、過去に実施した地域と合わせると、これまでに27都道府県で実施しています。

平成29年度も、「地域マルチステークホルダーで解決する」という視点を持った活動が展開され、児童館とNPOだけでなく、複数の主体が参画したプログラムが行われました。

5. 自然環境学習につなげる子どもエコ俳句大賞

次代を担う好奇心旺盛な子どもの育成を支援するため、自然環境学習につなげる「第12回子どもエコ俳句大賞」を、NPO法人シニア自然大学校と協働して、近畿二府四県の小学生を対象に実施しました。平成29年度は57, 224句の応募の中から特選3、準特選3、優秀賞40、優良賞60の合計106句を選出し、平成30年1月28日に受賞者・家族約340名が出席のもと表彰式を行いました。

特選、準特選は次のとおりです。

特選 (坪内稔典賞)	低学年	うんどうかい おとうさんが みえたよ 近藤 瑞希 大津市 堅田小学校1年生
	中学年	さつまいも ぼくの顔より 勝っている 藤岡 奈七生 橋本市 恋野小学校3年生
	高学年	家の庭 ジャコウアゲハが ゆっくり飛ぶ 坪田 果歩 姫路市 山田小学校6年生
準特選	低学年	とうさんと そだてたきゅうり なつのあじ 後藤 一鉄 堺市西区 鳳南小学校1年生
	中学年	マンモスの ころんだ理由 ソーダ水 浅尾 琴美 神戸市西区 枝吉小学校4年生
	高学年	山の中 山の学校 せみの声 山本 翼 藤井寺市 四天王寺小学校6年生

Ⅲ 音楽文化振興事業【実施事業(式典等の貸館を除く)】

平成29年度、いずみホールは年間37回の主催公演(人材養成事業含む)を開催しました。共催公演、貸館も含む公演数は238公演、年間の入場者総数は113,282名となりました。主催公演の入場者数は平均で558名(H28年度580名)となり、昨年度を下回る結果となりました。貸館数は3年ごとに開催される「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」の影響もあり、192回と大幅に増加しました。相変わらずアマチュア団体の活動は活発で土・日の貸館はほぼ予約でいっぱいになっています。全体の平均入場者数(貸館(レコーディング、式典等)除く)は510名(H28年度551名)と前年を下回りました。

	平成29年度 ()は前年度		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	33 (32)	18,401 (18,585)	1,061	624,526
主催公演(人材養成事業)	4 (1)	203 (88)		
共催公演	9 (10)	3,011 (4,847)		
貸館(一般公演)	176 (155)	91,667 (85,770)	5,524	3,035,919
貸館(レコーディング、式典等)	16 (17)			
合計	238 (215)	113,282 (109,290)	6,585	3,660,445

(注)貸館(一般公演)には受託公演を含む。

平成29年度は、「ウィーン・ムジークフェスト2017」と題し、世界各地で活躍を続けるウィーンの巨匠ピアニスト、ルドルフ・ブッフビンダー氏を特別に招聘し、彼を中心とした音楽祭として3公演を開催しました。台風の直撃を受け公演日を延期して開催したピアノ・リサイタル。ウィーン・フィルの若手演奏家との共演によるピアノ・トリオのタベ。そしてホールのレジデント・オーケストラであるいずみシンフォニエッタ大阪との共演による協奏曲と、多彩なコンサートをお届けし、聴衆の方々からの絶大な支持を受けることが出来ました。併せてウィーン楽友協会芸術総監督のトーマス・アンギャン氏による講演会「楽都ウィーンの音楽生活とホール運営」をホテルニューオータニ大阪において開催しました。

バッハ・アルヒーフ・ライブツィヒとの提携により7年かけて行う「バッハ・オルガン作品全曲演奏会」も6年目を迎え企画のゴールが見えてきました。そのほか現代音楽を積極的に紹介する「いずみシンフォニエッタ大阪」定期演奏会は40回を数え、定番となっている「いずみホール・オペラ」、有名アーティストによる「スペシャル・コンサート」「ミュージック・ステージ」「サマーヴァケーションコンサート」など、バラエティに富むラインアップで、多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。なかでも「ランチタイム・コンサート」は6月に100回を迎え、スタート時から25年間企画・監修と司会を務めた日下部吉彦氏が勇退。2月に京都大学大学院教授の岡田暁生氏を新たなナビゲーターとして「新・ランチタイム・コンサート」をスタートさせました。

また喜ばしい成果として、一昨年度に開催した、いずみホール・オペラ『ドン・ジョヴァンニ』公演が2017年度の佐川吉男音楽賞を受賞いたしました。これは、いずみホールが長い年月を掛けて独自の様式を作り上げたいずみホール・オペラの取り組みが評価されたものと言えます。

障害のある方々とサポートするの方々をご招待する「夢コンサート」は15回目の公演を開催。また、若年層ファンの育成・獲得に向けた取組であるユースシートも継続、Osaka Shion Wind Orchestraと提携した音楽鑑賞会では大阪市の小学生約2,600人がいずみホールを訪れました。

最後にホールにとって残念な訃報が2件ありました。ひとつめは「ランチタイム・コンサート」企画・監修者として昨年100回を節目に勇退された日下部吉彦氏が昨年12月30日に90歳でお亡くなりになりました。また、もうひとつは本年2月22日にいずみホール音楽ディレクターの礒山 雅氏が不慮の事故によりお亡くなりになりました。71歳でした。礒山氏はホールの開館前から約30年の長きにわたって主催公演の運営に携わり、専門家の見地から様々な企画を監修していただきました。平成30年度以降も礒山氏監修の企画が進行しており、スタッフが全力を挙げて取り組み亡きディレクターのご遺志を継いでゆく所存です。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。

【ウィーン・ムジークフェスト2017(全3公演+講演会)】

9/18 (月・祝)	I. リサイタル ルドルフ・ブッフビンダー(ピアノ) モーツァルト:フランスの歌「ああ、お母さん聞いて」による 12の変奏曲 K. 265 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第23番 ヘ短調 op. 57「熱情」 シューベルト:ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D960 【9/17(日)に予定していた公演を、台風の接近により翌日に延期】	395
9/20 (水)	II. 室内楽 ルドルフ・ブッフビンダー(ピアノ)、アルベナ・ダナイローヴァ(ヴァイオリン) タマーシュ・ヴァルガ(チェロ) ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調 op. 97「大公」 メンデルスゾーン:ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 op.49	480
9/23 (土)	III. コンチェルト ルドルフ・ブッフビンダー(ピアノ)、タマーシュ・ヴァルガ(チェロ) 小栗まち絵(ヴァイオリン)、いずみシンフォニエッタ大阪 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15 ピアノ、ヴァイオリン、チェロのための協奏曲 ハ長調 op.56	530
9/22 (金)	特別企画 トーマス・アンギャン講演会 「楽都ウィーンの音楽生活とホール運営」 トーマス・アンギャン(ウィーン楽友協会芸術総監督) 礒山 雅(いずみホール音楽ディレクター) 会場/ホテルニューオータニ大阪 ウィステリア	91

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

7/15 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第39回定期演奏会 「超絶のコンチェルト—めくるめく競演—」 下野竜也(指揮)、上田 希(クラリネット)、呉 信一(トロンボーン) 古部賢一(オーボエ)、宮本益光(バリトン) 尹 伊桑:クラリネット協奏曲(1981) 松本直祐樹:トロンボーン協奏曲(委嘱新作) ジョン・ウィリアムズ:オーボエ協奏曲(2011) ハインツ=カール・グルーバー:フランケンシュタイン！！	525
-------------	---	-----

2/10 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第40回定期演奏会 「幻想と衝撃の夢体験～超人的オーボエ！インデアミュレを迎えて～」 飯森範親(指揮)、トーマス・インデアミュレ(オーボエ) レスピーギ(川島素晴編):ローマのいずみ 西村 朗:オーボエ協奏曲「四神」(委嘱新作) カーゲル:フィナーレ	492
-------------	--	-----

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会】

4/4 (火)	特別演奏会 富田一樹 バッハ国際コンクール第1位受賞記念凱旋コンサート 富田一樹(パイプオルガン)、礒山 雅(お話) D・ブクステフデ:プレリュード ト短調 BuxWV149 J.S.バッハ:トッカータとフーガ ヘ長調 BWV540 パッサカリア ハ短調 BWV582 ほか	777
7/29 (土)	第11回「トッカータとフーガはニ短調で!」 オリヴィエ・ラトリー(パイプオルガン)、礒山 雅(お話) J.S.バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 トリオ ニ短調 BWV583/トリオ ハ短調 BWV585 『音楽の捧げもの』より 6声のリチェルカーレ BWV1079 ほ か	755
3/3 (土)	第12回「天へのまなざし」 マルティン・シュメーディング(パイプオルガン) J.S.バッハ:プレリュードとフーガ イ長調 BWV536 ファンタジー ハ長調 BWV570 マニフィカト(わが魂は主をあがめ) BWV733 ほか	610

【いずみホール・オペラ】

12/16 (土)	ドニゼッティ:歌劇「愛の妙薬」 河原忠之(指揮、プロデュース)、栗國 淳(演出) 中井亮一(ネモリーノ)、石橋栄実(アディーナ)、黒田 博(ベルコーレ) 久保田真澄(ドゥルカマーラ)、田邊織恵(ジャンネッタ) ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団・管弦楽団	472
--------------	--	-----

【ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:日下部吉彦)】

6/14 (水)	vol. 100「100回を通して願ってきた“壁やテロのない、やさしい平和”」 工藤俊幸(指揮)、岩田達宗(演出)、神戸市混声合唱団 中田 章:早春賦/林 光:原爆小景 中田喜直:夏の思い出、小さい秋見つけた、雪の降る町を	774
-------------	--	-----

【新・ランチタイム・コンサート（企画・構成、お話：岡田暁生）】

2/27 (火)	vol. 1「歌うイタリア、想うドイツ」～音楽は国が違えばこうも違う！～ 市原 愛(ソプラノ)、藤田卓也(テノール)、越知晴子(ピアノ) プッチーニ：歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」 ヴェルディ：歌劇『椿姫』より「乾杯の歌」 ほか	730
-------------	--	-----

【ミュージック・ステージ】

5/11 (木)	青春の吹奏楽PartⅣ 岩村 力(指揮)、Osaka Shion Wind Orchestra バーンスタイン：「キャンディード」序曲 リード：音楽祭のプレリュード、アルメニアン・ダンス パート1 ほか	698
8/6 (日)	ロザンと一緒にバンドネオンで世界旅行 三浦一馬(バンドネオン)、松本和将(ピアノ)、ロザン(案内役) J.S.バッハ：主よ人の望みの喜びよ、アヴェ・マリア ピアソラ：ブエノスアイレスの冬、リベルタンゴ ほか	662
10/6 (金)	アンサンブル・ウィーン＝ベルリン バルトーク：ルーマニア民俗舞曲 ベリオ：オーパス・ナンバー・ズー(作品番号獣番) ほか	556
12/20 (水)	クリスマス・コンサート2017 大谷康子(ヴァイオリン、お話)、横山幸雄(ピアノ、お話) クライスラー：愛の喜び、美しきロスマリン 湯山 昭：『お菓子の世界』より「ホットケーキ」 ほか	301

【その他公演】

4/18 (火)	マルティン・ハーゼルベック(指揮)、ウィーン・アカデミー管弦楽団 ベートーヴェン：交響曲 第6番 ヘ長調 op. 68「田園」 交響曲 第5番 ハ短調 op. 67「運命」	539
6/1 (木)	IZUMI JAZZ NIGHT 2017 小曾根真(ピアノ)、ゲイリー・バートン(ヴィブラフォン)	788
6/18 (日)	弦楽四重奏のフロンティアVol. 1 アルディッティ弦楽四重奏団 バルトーク：弦楽四重奏曲 第6番 BB119 西村 朗：弦楽四重奏曲 第6番(2017、世界初演) ほか	344
6/29 (木)	弦楽四重奏のフロンティアVol. 2 ハーゲン弦楽四重奏団 ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲 第3番 ヘ長調 op. 73 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第16番 ヘ長調 op. 135 ほか	529
7/9 (日)	樫本大進(ヴァイオリン)&アレッシオ・バックス(ピアノ) ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調「雨の歌」 op. 78 グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ハ短調 op. 45 ほか	688
7/25 (火)	大野和士オペラ・レクチャー・コンサート 大野和士(ピアノ、お話)、砂川涼子(ソプラノ)、小泉詠子(メゾ・ソプラノ) 西村 悟(テノール)、福嶋 勲(バリトン) ほか プッチーニ：『蝶々夫人』より／ドニゼッティ：『ルチア』より ほか	484

11/10 (金)	MUSIC SUPPLEMENT vol. 11 DEPAPEPE(ギターデュオ)	759
11/18 (土)	佐藤俊介(ヴァイオリン)、鈴木秀美(チェロ)&スーアン・チャイ(フォルテピアノ) ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op. 100 ピアノ・トリオ 第3番 ハ短調 op. 101 ほか	328
11/24 (金)	小菅 優 ピアノ・リサイタル「Four Elements」Vol. 1「Water」 ショパン:舟歌 リスト:「巡礼の年」よりエステ荘の噴水、バラード 第2番 ほか	455
1/5 (金)	ニューイヤー・コンサート2018 ウィーン・リング・アンサンブル レハール:ワルツ「金と銀」 J. シュトラウスⅡ:オペレッタ『こもり』より チャールダーシュ ほか	669
1/23、24 (火、水)	イザベル・ファウスト/バッハ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ J.S.バッハ:ソナタ 第1番 ト短調/第2番 イ短調/第3番 ハ長調 パルティータ 第1番 ロ短調/第2番 ニ短調/第3番 ホ長調	511 621
2/20 (火)	藤村実穂子 リーダーアーベント 藤村実穂子(メゾソプラノ)、ヴォルフラム・リーガー(ピアノ) シューベルト:糸を紡ぐグレートヒェン D. 118、湖上にて D. 543 マーラー:フリードリヒ・リュッケルトの詩による5つの歌曲 ほか	687
3/17、18 (土、日)	リフシッツ/J.S.バッハ鍵盤協奏曲全曲演奏会 コンスタンチン・リフシッツ(ピアノ・指揮)、いずみシンフォニエッタ大阪 J.S.バッハ:協奏曲 第1番 ニ短調/第2番 ホ長調/第3番 ニ長調 第4番 イ長調/第5番 ヘ短調/第6番 ヘ長調 第7番 ト短調/ブランデンブルク協奏曲 第5番 ニ長調	344 337

【普及事業】

8/2 (水)	いずみ子どもカレッジ2017 江崎浩司(リコーダー)、森 綾香(オーボエ)、重岡麻衣(チェンバロ) 江崎浩司:音楽落語劇「初天神」 ほか	343
9/5 (火)	いずみホール夢コンサート2017 藤岡幸夫(指揮)、安井 歩(パイプオルガン) 関西フィルハーモニー管弦楽団	651
10/26 (木)	西村 朗 音楽講座Ⅷ『華麗なる変奏』 西村 朗(講師)、高木和弘(ヴァイオリン)、小谷直子(クラリネット) 伊藤朱美子(マリンバ)、碓山典子(ピアノ) ベートーヴェン:トルコ・マーチによる変奏曲 リスト:超絶技巧練習曲 第6番 イ短調「主題と変奏」 ほか	567

【人材養成事業】

アートマネジメント講座 広報のイロハ 5/25(木) 講座1 広報のイロハ(会場:OBPアカデミア) 6/22(木) 講座2 宣伝のイロハ(会場:OBPアカデミア) 7/15(土) 講座3 関西からの文化発信(会場:リハーサル室) 9/22(金) 特別講座(別掲:ウィーン・ムジークフェスト講演会)	112
---	-----

IV 財団組織運営に関する事項

1. 公益目的支出計画実施報告書等の提出

平成25年4月1日の一般財団法人住友生命福祉文化財団移行後4年を経過し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、平成28年度の公益目的支出計画実施報告書等を平成29年6月29日に内閣府宛提出しました。

平成25年4月1日移行時の公益目的財産額 2, 906, 799, 046円

平成28年度末日の公益目的収支差額 1, 362, 366, 553円

平成28年度末日の公益目的財産残額 1, 544, 432, 493円

2. 評議員会・理事会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおりです。

【評議員会】

定時 平成29年6月23日

平成28年度事業報告について(報告事項)

平成28年度計算書類承認の件

評議員7名選任の件

理事1名選任の件

平成28年度公益目的支出計画実施報告書について(報告事項)

平成29年度事業計画及び予算について(報告事項)

【理事会】

第1回 平成29年6月1日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

平成28年度事業報告及び計算書類等承認の件

平成28年度公益目的支出計画実施報告書承認の件

平成29年度定時評議員会開催の決定の件

第2回 平成29年6月14日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

理事候補者 1 名選出の件

第3回 平成29年6月23日

常務理事(業務執行理事)選定の件

理事の担当職務承認の件

理事長代行順位承認の件

使用人職務の委嘱承認の件

役員報酬額決定の件

平成29年度職務執行状況について(報告事項)

第4回 平成30年3月12日

平成30年度事業計画書及び収支予算書承認の件

「内部管理法内検証規程」制定、および「事務リスク管理規程」改定に関する件

平成30年度大阪音楽大学との取引承認の件

重要な使用人の選任及び解任の件の件

平成29年度職務執行状況について(報告事項)

平成29年度大阪音楽大学との取引結果について(報告事項)

3. 内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】(平成25年4月1日制定、平成27年5月29日改定)

- (1) 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- (2) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (3) 損失の危険の管理に関する規程
- (4) 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (5) 監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
- (6) 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制及び当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制
- (7) 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
- (8) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

経営に重大な影響を与える事案や受益者等の利益が著しく阻害される事案等は発生していません。各規程に定める理事会及び監事への報告事項は次頁のとおりです。

規程名	報告内容	平成29年4月～平成30年3月の状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	上期・下期にそれぞれ振り返りを実施。遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。
受益者情報管理規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理規程	各委託元部署から集約した外部委託管理の全社状況その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案はなし。
内部管理法内 検証規程	検証結果	問題となる事項なし。

4. 評議員・役員の状況

平成29年度における異動は次のとおりです。(敬称略)

平成29年 4月 1日	理事	新任	寺田 浩
平成29年 6月23日	評議員	重任	川木 一正
	評議員	重任	小栗 まち絵
	評議員	重任	中嶋 直躬
	評議員	重任	斉藤 弥生
	評議員	重任	藤本 宏樹
	評議員	重任	楠岡 英雄
	評議員	重任	佐藤 義雄
平成29年 7月 4日	理事	新任	小阪 博司
平成30年 3月25日	理事	辞任	寺田 浩

評 議 員 名 簿（敬称略）

（平成30年3月31日現在）

評議員	小栗 まち絵	相愛大学 名誉教授・東京音楽大学 特任教授・ヴァイオリニスト
評議員	川木 一正	曾根崎法律事務所 弁護士
評議員	楠岡 英雄	独立行政法人 国立病院機構 理事長
評議員	斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評議員	佐藤 義雄	住友生命保険相互会社 取締役会長代表執行役
評議員	中嶋 直躬	コクヨ株式会社 社友・元専務取締役
評議員	藤本 宏樹	住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長

役 員 名 簿（敬称略）

（平成30年3月31日現在）

理事長	田辺 恭久	住友生命保険相互会社 常勤顧問・元常務執行役員
常務理事	小阪 博司	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長 元住友生命保険相互会社執行役員
理事	宇高 不可思	一般財団法人住友病院 特別顧問
理事	塩野 元三	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長
理事	中村 孝義	学校法人大阪音楽大学 理事長
理事	林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長
理事	堀本 葉子	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム所長
理事	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 相談役
監事	上野 博明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監事	片山 登志子	片山・平泉法律事務所 弁護士

5. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,130,322,799	988,114,455	142,208,344
未収収益	960,077	1,005,283	-45,206
未収金	163,885,998	164,971,370	-1,085,372
貯蔵品	14,391,676	16,813,340	-2,421,664
有価証券	0	150,173,113	-150,173,113
立替金	5,000	0	5,000
前払費用	4,132,490	5,473,045	-1,340,555
未収還付法人税等	222,096	275,758	-53,662
	1,313,920,136	1,326,826,364	-12,906,228
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	689,599,634	689,700,469	-100,835
普通預金	11,039,350	11,039,350	0
基本財産合計	700,638,984	700,739,819	-100,835
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	149,764,520	131,376,520	18,388,000
設備更新引当資産	89,184,896	91,984,896	-2,800,000
特定資産合計	238,949,416	223,361,416	15,588,000
(3) その他固定資産			
建物附属設備	29,996,039	34,509,075	-4,513,036
構築物	1,981,967	2,039,875	-57,908
什器備品	118,937,953	148,978,830	-30,040,877
ソフトウェア	9,793,611	15,155,914	-5,362,303
投資有価証券	112,385,262	112,761,806	-376,544
電話加入権	432,000	432,000	0
敷金	4,652,000	4,652,000	0
長期前払費用	947,555	0	947,555
その他固定資産合計	279,126,387	318,529,500	-39,403,113
固定資産合計	1,218,714,787	1,242,630,735	-23,915,948
資産合計	2,532,634,923	2,569,457,099	-36,822,176
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	102,804,863	72,851,810	29,953,053
未払費	9,453,100	9,829,313	-376,213
預り金	4,648,939	4,069,660	579,279
前受金	11,665,284	32,383,560	-20,718,276
賞与引当金	40,094,421	44,533,758	-4,439,337
未払法人税等	120,000	120,000	0
未払消費税等	12,006,600	16,221,600	-4,215,000
流動負債合計	180,793,207	180,009,701	783,506
2. 固定負債			
退職給付引当金	195,639,516	161,588,023	34,051,493
固定負債合計	195,639,516	161,588,023	34,051,493
負債合計	376,432,723	341,597,724	34,834,999
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	699,316,519	699,415,139	-98,620
指定正味財産合計	699,316,519	699,415,139	-98,620
(うち基本財産への充当額)	699,316,519	699,415,139	-98,620
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,456,885,681	1,528,444,236	-71,558,555
(うち特定資産への充当額)	1,322,465	1,324,680	-2,215
	89,184,896	91,984,896	-2,800,000
正味財産合計	2,156,202,200	2,227,859,375	-71,657,175
負債及び正味財産合計	2,532,634,923	2,569,457,099	-36,822,176

(注)実施事業資産は次のとおりである。

建物附属設備	3,065,389
構築物	1,981,967
什器備品	7,786,906
ソフトウェア	2,102,322
	14,936,584

正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	7,137,785	7,129,949	7,836
基本財産受取利息	7,137,785	7,129,949	7,836
事業収益	1,270,360,210	1,257,693,202	12,667,008
診療事業収益	1,051,914,471	1,052,820,284	-905,813
受取補助金等	218,445,739	204,872,918	13,572,821
受取寄附金	39,780,000	33,154,242	6,625,758
受取寄附金	39,780,000	33,154,242	6,625,758
雑収益	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	3,812,611	3,798,216	14,395
雑収益	2,172,433	2,381,494	-209,061
経常収益計	1,640,178	1,416,722	223,456
(2) 経常費用	1,706,090,606	1,686,775,609	19,314,997
事業費	1,758,980,539	1,822,119,589	-63,139,050
役員報酬	10,424,000	10,272,000	152,000
臨時雇賃金	343,559,451	350,196,569	-6,637,118
退職給付	296,025,944	328,043,725	-32,017,781
福利厚生費	41,839,897	38,982,950	2,856,947
広報宣伝費	76,645,115	86,202,482	-9,557,367
旅通費	9,713,022	12,568,541	-2,855,519
消耗什器備品	29,731,055	31,548,543	-1,817,488
消耗什器備品	20,472,281	20,864,902	-392,621
消耗什器備品	67,055,481	87,146,030	-20,090,549
消耗什器備品	3,092,067	570,368	2,521,699
消耗什器備品	9,820,584	15,103,738	-5,283,154
消耗什器備品	139,281,800	144,090,631	-4,808,831
消耗什器備品	34,446,725	35,911,928	-1,465,203
消耗什器備品	12,068,397	12,945,605	-877,208
消耗什器備品	15,790,073	14,893,102	896,971
消耗什器備品	152,638,273	152,866,054	-227,781
消耗什器備品	1,300,981	1,296,364	4,617
消耗什器備品	3,707,059	3,270,649	436,410
消耗什器備品	2,616,410	2,329,558	286,852
消耗什器備品	20,926,390	20,674,911	251,479
消耗什器備品	1,473,563	1,466,915	6,648
消耗什器備品	3,000,000	13,500,000	-10,500,000
消耗什器備品	227,232,820	231,297,307	-4,064,487
消耗什器備品	9,816,132	7,841,526	1,974,606
消耗什器備品	87,204,568	85,863,420	1,341,148
消耗什器備品	139,098,451	112,371,771	26,726,680
消耗什器備品	18,449,163	24,185,125	-5,735,962
消耗什器備品	3,176,000	4,128,000	-952,000
消耗什器備品	6,023,439	8,022,361	-1,998,922
消耗什器備品	-380,404	-100,457	-279,947
消耗什器備品	3,003,461	4,307,841	-1,304,380
消耗什器備品	395,096	453,310	-58,214
消耗什器備品	24,516	22,422	2,094
消耗什器備品	18,872	16,608	2,264
消耗什器備品	233	9,632	-9,399
消耗什器備品	29,064	20,731	8,333
消耗什器備品	3,669	4,058	-389
消耗什器備品	402,100	411,780	-9,680
消耗什器備品	58,846	54,877	3,969
消耗什器備品	590,631	590,429	202
消耗什器備品	138,569	168,063	-29,494
消耗什器備品	1,200,000	1,200,000	0
消耗什器備品	699,455	758,783	-59,328
消耗什器備品	1,775,011	1,791,504	-16,493
消耗什器備品	198,568	161,799	36,769
消耗什器備品	80,000	1,195,422	-1,115,422
消耗什器備品	862,111	818,581	43,530
消耗什器備品	149,926	149,381	545
経常費用計	1,777,429,702	1,846,304,714	-68,875,012
評価損益等調整前当期経常増減額	-71,339,096	-159,529,105	88,190,009
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-71,339,096	-159,529,105	88,190,009
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	219,459	1	219,458
什器備品除却損	219,459	1	219,458
経常外費用計	219,459	1	219,458
当期経常外増減額	-219,459	-1	-219,458
当期一般正味財産増減額	-71,558,555	-159,529,106	87,970,551
一般正味財産期首残高	1,528,444,236	1,687,973,342	-159,529,106
一般正味財産期末残高	1,456,885,681	1,528,444,236	-71,558,555
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用収益	7,021,576	7,013,740	7,836
基本財産受取利息	7,021,576	7,013,740	7,836
一般正味財産への振替額	-7,120,196	-7,112,360	-7,836
当期指定正味財産増減額	-98,620	-98,620	0
指定正味財産期首残高	699,415,139	699,513,759	-98,620
指定正味財産期末残高	699,316,519	699,415,139	-98,620
III 正味財産期末残高	2,156,202,200	2,227,859,375	-71,657,175

正味財産増減計算書内訳表

平成29年 4月 1日から平成30 3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			その他会計			法人会計	合 計
	福祉事業	音楽文化振興事業	小 計	予防医学振興事業	式典等貸館事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基 本 財 産 運 用 益	0	0	0	0	0	0	7,137,785	7,137,785
基 本 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	7,137,785	7,137,785
事 業 収 益	0	207,210,922	207,210,922	1,051,914,471	11,234,817	1,063,149,288	0	1,270,360,210
健 診 事 業 収 益	0	0	0	1,051,914,471	0	1,051,914,471	0	1,051,914,471
い ず み 事 業 収 益	0	207,210,922	207,210,922	0	11,234,817	11,234,817	0	218,445,739
受 取 補 助 金 等	0	39,780,000	39,780,000	0	0	0	0	39,780,000
受 取 助 成 金	0	39,780,000	39,780,000	0	0	0	0	39,780,000
受 取 寄 付 金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
受 取 寄 付 金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
雑 収 益	0	1,429,742	1,429,742	1,442,313	0	1,442,313	940,556	3,812,611
受 取 利 息	0	0	0	1,231,877	0	1,231,877	940,556	2,172,433
雑 収 益	0	1,429,742	1,429,742	210,436	0	210,436	0	1,640,178
経常収益計	0	248,420,664	248,420,664	1,238,856,784	11,234,817	1,250,091,601	207,578,341	1,706,090,606
(2) 経常費用								
事 業 費	153,265,906	441,059,979	594,325,885	1,153,729,323	10,925,331	1,164,654,654	0	1,758,980,539
役 員 報 酬	2,400,000	5,606,240	8,006,240	2,400,000	17,760	2,417,760	0	10,424,000
給 料 手 当	6,562,341	97,611,830	104,174,171	237,701,097	1,684,183	239,385,280	0	343,559,451
臨 時 雇 賃 金	0	19,819,335	19,819,335	275,202,950	1,003,659	276,206,609	0	296,025,944
退 職 給 付 費 用	-760,808	8,282,050	7,521,242	34,167,705	150,950	34,318,655	0	41,839,897
福 利 厚 生 費	3,783,975	21,535,296	25,319,271	50,953,553	372,291	51,325,844	0	76,645,115
広 告 宣 伝 費	0	9,186,896	9,186,896	372,994	153,132	526,126	0	9,713,022
旅 費 交 通 費	956,930	7,411,719	8,368,649	21,139,534	222,872	21,362,406	0	29,731,055
通 信 運 搬 費	17,518	4,987,876	5,005,394	15,415,194	51,693	15,466,887	0	20,472,281
減 価 償 却 費	10,997	4,060,091	4,071,088	62,903,065	81,328	62,984,393	0	67,055,481
消 耗 什 器 備 品 費	0	316,785	316,785	2,760,100	15,182	2,775,282	0	3,092,067
消 耗 品 費	713	2,399,131	2,399,844	7,339,102	81,638	7,420,740	0	9,820,584
健 診 消 耗 品 費	0	0	0	139,281,800	0	139,281,800	0	139,281,800
修 繕 費	1,781	877,607	879,388	33,550,386	16,951	33,567,337	0	34,446,725
印 刷 製 本 費	0	6,059,696	6,059,696	5,981,487	27,214	6,008,701	0	12,068,397
光 熱 水 料 費	64,675	4,001,997	4,066,672	11,646,101	77,300	11,723,401	0	15,790,073
賃 借 料	764,152	7,899,999	8,664,151	143,821,532	152,590	143,974,122	0	152,638,273
保 険 料	2,105	706,989	709,094	545,719	46,168	591,887	0	1,300,981
諸 謝 金	0	3,670,021	3,670,021	37,038	0	37,038	0	3,707,059
会 議 ・ 交 際 費	263,756	1,224,095	1,487,851	1,124,155	4,404	1,128,559	0	2,616,410
租 税 公 課	9,449,139	3,551,080	13,000,219	7,908,465	17,706	7,926,171	0	20,926,390
支 払 負 担 金	0	536,795	536,795	926,400	10,368	936,768	0	1,473,563
支 払 助 成 金	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000
委 託 費	129,720,932	7,071,390	136,792,322	90,257,670	182,828	90,440,498	0	227,232,820
雑 費	27,700	4,346,187	4,373,887	5,293,276	148,969	5,442,245	0	9,816,132
い ず み ホ ー ル 管 理 費	0	81,875,723	81,875,723	0	5,328,845	5,328,845	0	87,204,568
公 演 企 画 制 作 費	0	138,021,151	138,021,151	0	1,077,300	1,077,300	0	139,098,451
管 理 費	0	0	0	0	0	0	18,449,163	18,449,163
役 員 報 酬	0	0	0	0	0	0	3,176,000	3,176,000
給 料 手 当	0	0	0	0	0	0	6,023,439	6,023,439
退 職 給 付 費 用	0	0	0	0	0	0	-380,404	-380,404
福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0	0	3,003,461	3,003,461
旅 費 交 通 費	0	0	0	0	0	0	395,096	395,096
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	24,516	24,516
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0	0	18,872	18,872
消 耗 什 器 備 品 費	0	0	0	0	0	0	233	233
消 耗 品 費	0	0	0	0	0	0	29,064	29,064
修 繕 費	0	0	0	0	0	0	3,669	3,669
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	0	402,100	402,100
光 熱 水 料 費	0	0	0	0	0	0	58,846	58,846
賃 借 料	0	0	0	0	0	0	590,631	590,631
保 険 料	0	0	0	0	0	0	138,569	138,569
諸 謝 金	0	0	0	0	0	0	1,200,000	1,200,000
会 議 ・ 交 際 費	0	0	0	0	0	0	699,455	699,455
租 税 公 課	0	0	0	0	0	0	1,775,011	1,775,011
支 払 負 担 金	0	0	0	0	0	0	198,568	198,568
支 払 寄 付 金	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
委 託 費	0	0	0	0	0	0	862,111	862,111
雑 費	0	0	0	0	0	0	149,926	149,926
経常費用計	153,265,906	441,059,979	594,325,885	1,153,729,323	10,925,331	1,164,654,654	18,449,163	1,777,429,702
評価損益等調整前当期経常増減額	-153,265,906	-192,639,315	-345,905,221	85,127,461	309,486	85,436,947	189,129,178	-71,339,096
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-153,265,906	-192,639,315	-345,905,221	85,127,461	309,486	85,436,947	189,129,178	-71,339,096
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固 定 資 産 除 却 損	0	0	0	219,459	0	219,459	0	219,459
什 器 備 品 除 却 損	0	0	0	219,459	0	219,459	0	219,459
経常外費用計	0	0	0	219,459	0	219,459	0	219,459
当期経常外増減額	0	0	0	-219,459	0	-219,459	0	-219,459
当期一般正味財産増減額	-153,265,906	-192,639,315	-345,905,221	84,908,002	309,486	85,217,488	189,129,178	-71,558,555
一般正味財産期首残高	-549,436,412	-619,175,136	-1,168,611,548	1,434,703,664	-951,556	1,433,752,108	1,263,303,676	1,528,444,236
一般正味財産期末残高	-702,702,318	-811,814,451	-1,514,516,769	1,519,611,666	-642,070	1,518,969,596	1,452,432,854	1,456,885,681
II 指定正味財産増減の部								
基 本 財 産 運 用 益	0	0	0	0	0	0	7,021,576	7,021,576
基 本 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0	0	0	7,021,576	7,021,576
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0	0	0	0	-7,120,196	-7,120,196
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	-98,620	-98,620
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	699,415,139	699,415,139
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	699,316,519	699,316,519
III 正味財産期末残高	-702,702,318	-811,814,451	-1,514,516,769	1,519,611,666	-642,070	1,518,969,596	2,151,749,373	2,156,202,200

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による償却原価法(定額法)によっている。

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割引いた金額を計上している。

なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	689,700,469	80,301,885	80,402,720	689,599,634
普通預金	11,039,350		0	11,039,350
小 計	700,739,819	80,301,885	80,402,720	700,638,984
特定資産				
退職給付引当資産	131,376,520	18,388,000	0	149,764,520
設備更新引当資産	91,984,896	0	2,800,000	89,184,896
小 計	223,361,416	18,388,000	2,800,000	238,949,416
合 計	924,101,235	98,689,885	83,202,720	939,588,400

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	689,599,634	688,277,169	1,322,465	0
普通預金	11,039,350	11,039,350	0	0
小 計	700,638,984	699,316,519	1,322,465	0
特定資産				
退職給付引当資産	149,764,520	0	0	149,764,520
設備更新引当資産	89,184,896	0	89,184,896	0
小 計	238,949,416	0	89,184,896	149,764,520
合 計	939,588,400	699,316,519	90,507,361	149,764,520

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	644,022,450	614,026,411	29,996,039
構築物	2,797,498	815,531	1,981,967
什器備品	754,947,446	636,009,493	118,937,953
ソフトウェア	154,771,916	144,978,305	9,793,611
合 計	1,556,539,310	1,395,829,740	160,709,570

5. 偶発債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、その見積額は、360,000,000円である。なお、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、損失の発生の可能性は低いと判断している。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	801,984,896	829,037,001	27,052,105
合 計	801,984,896	829,037,001	27,052,105

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	699,415,139	0	98,620	699,316,519	指定正味財産
平成29年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
平成29年度文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化事業)	文化庁	0	31,700,000	31,700,000	0	一般正味財産
平成28年度芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	3,000,000	3,000,000	0	一般正味財産
平成29年度芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	3,080,000	3,080,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人野村財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
いずみシンフォニエッタ公演助成金	公益財団法人花王芸術・科学財団	0	1,000,000	1,000,000	0	一般正味財産
いずみホールオペラ「愛の妙薬」公演助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
合 計		699,415,139	424,780,000	424,878,620	699,316,519	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額 (償却原価法によるものを除く)	7,120,196
合 計	7,120,196

9. 金融商品に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、預金及び債券により資産運用し、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

有価証券及び投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資金運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行っている。

② 信用リスクの管理

発行体の状況等を定期的に把握し、理事会に報告している。

③ 市場リスクの管理

関連する市場の動向等を把握し、理事会に報告している。

10. その他

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金及び退職年金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	-214,931,000
会計基準変更時差異の未処理額	19,291,484
退職給付引当金	-195,639,516

③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	35,029,000
会計基準変更時差異の費用処理額	6,430,493
退職給付費用	41,459,493

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額及び退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。

⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年

(2) 資産除去債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書

財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	44,533,758	40,094,421	44,533,758	0	40,094,421
退職給付引当金	161,588,023	41,459,493	7,408,000	0	195,639,516

予算対比正味財産増減計算書(参考資料)

平成29年 4月 1日から平成30 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	7,031,000	7,137,785	-106,785
基本財産受取利息	7,031,000	7,137,785	-106,785
事業収益	1,289,646,000	1,270,360,210	19,285,790
健康事業収益	1,063,219,000	1,051,914,471	11,304,529
受取補助金	226,427,000	218,445,739	7,981,261
受取補助金	36,500,000	39,780,000	-3,280,000
受取補助金	36,500,000	39,780,000	-3,280,000
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	2,477,000	3,812,611	-1,335,611
雑収益	2,227,000	2,172,433	54,567
雑収益	250,000	1,640,178	-1,390,178
経常収益計	1,720,654,000	1,706,090,606	14,563,394
(2) 経常費用			
事業費	1,848,450,000	1,758,980,539	89,469,461
役員報酬	10,272,000	10,424,000	-152,000
給職料	345,992,000	343,559,451	2,432,549
退職給付	323,528,000	296,025,944	27,502,056
福利厚生費	40,881,000	41,839,897	-958,897
旅費交通費	85,989,000	76,645,115	9,343,885
通信費	13,295,000	9,713,022	3,581,978
減価償却費	34,532,000	29,731,055	4,800,945
消耗品費	19,897,000	20,472,281	-575,281
消耗品費	80,084,000	67,055,481	13,028,519
消耗品費	1,340,000	3,092,067	-1,752,067
消耗品費	10,532,000	9,820,584	711,416
消耗品費	144,665,000	139,281,800	5,383,200
消耗品費	41,652,000	34,446,725	7,205,275
印刷費	16,601,000	12,068,397	4,532,603
光熱費	15,254,000	15,790,073	-536,073
賞借料	151,022,000	152,638,273	-1,616,273
保証料	1,251,000	1,300,981	-49,981
諸会費	4,230,000	3,707,059	522,941
租税	2,199,000	2,616,410	-417,410
支払金	19,759,000	20,926,390	-1,167,390
支払金	1,749,000	1,473,563	275,437
支払金	5,200,000	3,000,000	2,200,000
雑費	238,842,000	227,232,820	11,609,180
雑費	8,007,000	9,816,132	-1,809,132
雑費	85,629,000	87,204,568	-1,575,568
雑費	146,049,000	139,098,451	6,950,549
雑費	21,528,000	18,449,163	3,078,837
雑費	5,228,000	3,176,000	2,052,000
雑費	5,068,000	6,023,439	-955,439
雑費	110,000	-380,404	490,404
雑費	3,766,000	3,003,461	762,539
雑費	457,000	395,096	61,904
雑費	30,000	24,516	5,484
雑費	16,000	18,872	-2,872
雑費	10,000	233	9,767
雑費	28,000	29,064	-1,064
雑費	7,000	3,669	3,331
雑費	511,000	402,100	108,900
雑費	50,000	58,846	-8,846
雑費	508,000	590,631	-82,631
雑費	1,000	138,569	-137,569
雑費	1,300,000	1,200,000	100,000
雑費	1,106,000	699,455	406,545
雑費	2,916,000	1,775,011	1,140,989
雑費	2,000	198,568	-196,568
雑費	0	80,000	-80,000
雑費	376,000	862,111	-486,111
雑費	39,000	149,926	-110,926
経常費用計	1,869,979,000	1,777,429,702	92,549,298
評価損益等調整前当期経常増減額	-149,325,000	-71,339,096	-77,985,904
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-149,325,000	-71,339,096	-77,985,904
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	219,459	-219,459
什器備品除却損	0	219,459	-219,459
経常外費用計	0	219,459	-219,459
当期経常外増減額	0	-219,459	219,459
当期一般正味財産増減額	-149,325,000	-71,558,555	-77,766,445
一般正味財産期首残高	1,490,424,000	1,528,444,236	-38,020,236
一般正味財産期末残高	1,341,099,000	1,456,885,681	-115,786,681
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用収益	7,014,000	7,021,576	-7,576
基本財産受取利息	7,014,000	7,021,576	-7,576
一般正味財産への振替額	-7,112,000	-7,120,196	8,196
当期指定正味財産増減額	-98,000	-98,620	620
指定正味財産期首残高	699,418,000	699,415,139	2,861
指定正味財産期末残高	699,320,000	699,316,519	3,481
III 正味財産期末残高	2,040,419,000	2,156,202,200	-115,783,200

設備投資額

予算額: 146,820,000

決算額: 27,319,688

財産目録（参考資料）

平成30年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		内容・備考	金 額
(流動資産)			
	現金	手元保管（予防医学振興事業）	1,719,372
		手元保管（音楽文化振興事業）	1,625,666
	預金	普通預金	93,706
		三井住友銀行（予防医学振興事業）	1,128,603,427
		三井住友信託銀行（予防医学振興事業）	345,220,328
		みずほ銀行（予防医学振興事業）	12,381,410
		三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業）	5,846,926
		三井住友銀行（福祉事業）	469,440,155
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	65,936,580
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	127,998,607
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	11,158,580
		三菱東京UFJ銀行（音楽文化振興事業）	591,908
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	1,129,542
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	1,402,967
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	15,000,000
		ゆうちょ銀行（音楽文化振興事業）	4,613,018
三井住友銀行（法人会計）	67,883,406		
未収収益		960,077	
未収金	予防医学振興事業未収金	163,885,998	
	音楽文化振興事業未収金	126,552,826	
貯蔵品		37,333,172	
	予防医学振興事業貯蔵品	14,391,676	
	音楽文化振興事業貯蔵品	12,251,288	
立替金		2,140,388	
前払費用		5,000	
	予防医学振興事業前払費用	4,132,490	
	音楽文化振興事業前払費用	1,455,313	
		2,677,177	
	未収還付法人税等	222,096	
流動資産合計			1,313,920,136
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券		700,638,984
			689,599,634
特定資産	普通預金	第 4 1 回利付国債（法人会計）	80,134,240
		第 3 1 9 回利付国債（法人会計）	196,078,220
		第 3 1 1 回利付国債（法人会計）	258,935,925
		第 6 1 回利付国債（法人会計）	98,885,320
		第 3 0 5 回利付国債（法人会計）	55,565,929
			11,039,350
		三菱東京UFJ銀行（法人会計）	11,039,350
			238,949,416
		退職給付引当資産	149,764,520
			107,721,520
その他固定資産	設備更新引当資産	三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業）	42,043,000
		近畿大阪銀行（音楽文化振興事業）	89,184,896
	建物付属設備 構築物 什器備品 ソフトウェア 投資有価証券	三菱東京UFJ銀行（予防医学振興事業）	89,184,896
			279,126,387
			29,996,039
			1,981,967
			118,937,953
			9,793,611
			112,385,262
			67,444,999
電話加入権	第 3 0 7 回利付国債（法人会計）	44,940,263	
敷金	第 6 1 回利付国債（法人会計）	432,000	
長期前払費用		4,652,000	
		947,555	
固定資産合計			1,218,714,787
資産合計			2,532,634,923
(流動負債)			
	未払金	予防医学振興事業未払金	102,804,863
		音楽文化振興事業未払金	66,164,667
		福祉事業未払金	13,012,185
		法人会計未払金	23,558,891
			69,120
	未払費用	予防医学振興事業未払費用	9,453,100
		音楽文化振興事業未払費用	6,737,078
	預り金	音楽文化振興事業未払費用	2,716,022
			4,648,939
	前受金	予防医学振興事業未払金	2,740,824
		音楽文化振興事業未払金	1,908,115
	賞与引当金	音楽文化振興事業前受金	11,665,284
		式典等貸館事業前受金	11,438,484
			226,800
		予防医学振興事業賞与引当金	40,094,421
		音楽文化振興事業賞与引当金	30,302,023
未払法人税等		9,792,398	
未払消費税等		120,000	
		12,006,600	
流動負債合計			180,793,207
(固定負債)			
	退職給付引当金	予防医学振興事業退職給付引当金	195,639,516
		音楽文化振興事業退職給付引当金	153,551,516
固定負債合計		42,088,000	195,639,516
負債合計			376,432,723
正味財産			2,156,202,200

監 査 報 告

平成 3 0 年 5 月 1 1 日

一般財団法人住友生命福祉文化財団

理事長 田辺 恭久 殿

監事 上野 博明 ㊞

監事 片山 登志子 ㊞

私たち監事は、平成 2 9 年 4 月 1 日から平成 3 0 年 3 月 3 1 日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上